

佳辰を卜して二表彰

平青年團が 鈴木氏の勞に 深謝の餘り

既報平青年團にては昨日午前十一時第一小學校に於て明治節祝賀式終了後直ちに常任幹事鈴木康氏表彰式に移り藤田團長の名に依つて左記表彰状を授與し

貴下は大正十二年四月本團常任幹事に就任し爾來本團事務執掌の任に當り教職を奉じて閑暇なき身を更らに意とせず一意専心克く其の責を全ふし事務の遂行に力を傾注せらるる功績實に顯著なるものあり團員は其の功勞を讃へ心より感謝せざるなし仍て本團は幹部會の決議に基き明治節の佳辰を卜し記念品を添へて茲に之を表彰す

模範在郷軍人 田卷氏光榮

會長から賞状

平在郷軍人分會員元陸軍歩兵伍長田卷榮一氏は今回帝國在郷軍會々長一戸兵衛大將から左記賞状を贈られたので分會にては昨日午前十一時から松ヶ岡公園にて明治節祝賀式を終了後賞状の傳達式を行へ尚ほ同會長よりの銀時計を山崎會長から授與された

事業に盡瘁する等其行爲在郷軍人の模範たるもの多しとせず仍て茲に賞状を授與し其善行を表彰す

湯本町の 水道案成る

湯本町の水道敷設計劃案は委員の手で作製する一方水利權問題につき地元好間村委員に交渉を續けて来たが

本村代議士 歸朝の途に

（前略）獨逸伯林は九月廿八日に辭して和蘭アムステルダムに参り次でアンデループ、ブラッセルを経てパリに入り滞在四日間にしてロンドンに來り明日迄視察を爲し明後十二日は發して米國に向ふ豫定に候米國には僅かに二週間の滞在にてシヤトルより出帆歸朝可致候間お眼に懸るもあまり遠き事には無之候（十月十日發、ロンドン市にて木村清治）

在米の減少

平穀物検査所では十一月一日現在の在米持高を調査中であるが大體一萬石の見込で昨年の同期一萬四千六百

平婦人會が

香奠返しを決議

昨日の總會で緊縮申合

平婦人會總會は昨日午前十時半から平第二小學校に開かれ矢吹常任幹事の開辭に次いで一同君ヶ代を合唱し會我副總理勸語を奉讀して議事に入り伏見總理座長席に着き左記事項

- 一、葬儀に際し香奠返しを爲さざること
- 一、年末年始の贈答品を廢すること
- 一、婦人會の徽章を定むること

を可決し會我幹事の庶務會計の報告あり役員改選に移

縣社子歛倉社頭に 入營軍人の送別會

十七日午前十一時から

平町にては来る十七日午前十一時から縣社子歛倉神社々頭に於て入營兵送別會を行ふ筈であるが入營者は左記の如くにて會費は四十錢である

- ▽十二月一日入營（獨立守備步兵第二大隊）久保町大竹榮一、堂の前緒方四郎（朝鮮羅南歩兵六七聯隊）北目町馬場昇、田町漆間七郎、九品寺前鈴木主計（輻重兵第二大隊）堤の内山本福四郎（野戰重砲兵第一聯隊）道匠小路桐生道雄（獨立守備歩兵第四聯隊）三倉町小野瀬照男（歩兵第七十六聯隊）久保町春木利雄（五二日十日入營）朝鮮廿五聯隊野砲一七軒町田卷源市（五年一月十日入營）獨立守備步兵）木村町小菅武雄（歩兵廿九聯隊）田町石山忠孝、紺屋町小泉弘、鎌田町和知秀好、南町佐藤武、立町松井始、木村町緑川慶一、紺屋町加治英五、南町鈴木耕三、道匠小路根本好文（鐵道第一聯隊）柳町鈴木又四



お美味い汁

八ッ頭は五六分の小角に切

古河が優勝

各炭礦の競技

既報常磐各炭礦陸上競技會は昨日午前十時から警中グラウンドに於て開催各炭礦からの應援者多き合つて非常な盛況を呈したが得點數は左記の如くにて古河の優勝に歸した

古河新斜坑 愈よ起工式

明五日に

既報石城郡好間村古河炭礦りざつとゆでぬら〜を洗ひ落とし小鍋に入れ煮出汁を五六勺加へて味淋大匙二杯、醬油二滴を落とし入れ中ではませます、芹は洗つて熱湯に鹽少量を加へさつとゆで水に浸して一寸位に切つておきます、以上の準備が出来上がりましたらお碗に配合良く盛入れます次ぎ

酒造家の 苦心甚し

不況の折柄

ら平商及び平第一校の雨コトに於て開始参加チーム五十組にて先づ昨年の優勝チームたる好間の佐藤高橋組から優勝旗の返還あり直ちに試合に移つたが午後二時頃降雨の爲めに試合を中止し再び来る九日午後一時半より開始されると

庭球中止

降雨の爲めに

九日再び開始

既報濱三郡小學校教員庭球大會は昨日午前一時半が

拂下げ決定

團體事務所にて

石城郡各種團體事務所は二日縣から舊平警察署の建物に無償にて拂ひ下げを爲す旨の指令があつたので同日午前十時より直ちに各種團體長會議を開き移轉費用支出について協議を重ねたが移轉費三千圓中縣補助は九百三十餘圓あるので殘額二千圓は大體において石城郡各町村から一千圓の寄附を求め残り一千圓を各種團體が支出することになるらしいが指令には發令後六十日以内に移轉すべしとあるから本年未だには各種團體專用の建物が出來する譯である

時計 常磐屋

電話三三九

に汁は鍋に一口ツトルの煮出汁を入れ煮立ましてから鹽と醬油大匙一杯にあちをつけ味の素小匙一杯を加へくす粉を水溶きして流し入れ一度煮立つてから火からおろしこれで薄くす粉が出来て之をお碗に八分目位まで入れ柚子の皮を一へぎ吸口に入れ温かい中を進めます

大河原家不幸

平町役場収入役大河原金之助氏母堂シン刀自は三日午後三時十分逝去、六日午後零時から自宅に於て告別式を行ふ

女房は何處に

郡内郷村大字宮字町田四十八號舎大沼長吉内縁の妻吉田ツネ（二）は去月十三日午前九時頃無斷家出を爲し其後行衛不明であるが平町方面に潜伏の由にて亭主長吉より平署に搜索方を願出た

明日の豫氣

晴れたり曇つたり